

科目名	現代社会Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済			
担当者	小沢 康英			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[ 到達目標 ]          経済の基礎知識を習得しながら、現実の諸問題について経済面からの理解を深める。</p> <p>[ 授業概要 ]          現代日本が抱える経済的諸問題について、やさしく講義する。戦後の日本経済は大きな発展を遂げた。戦後数十年の経済発展の間に確立した組織や雇用など企業運営の枠組みは、近年の経済の低成長のなかで変化が顕著となってきた。社会の枠組みの変化やそこから生じる課題などについて考えていく。</p> <p>[ 準備学修(授業前後の主体的な学修) ]          前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[ 授業計画 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会経済を構成する主な要素</li> <li>2. 企業経営の目的</li> <li>3. 職場組織の構造と組織の風土・文化の形成</li> <li>4. 企業活動と社会的責任</li> <li>5. 共働の効果を引き出す組織運営とリーダーシップ</li> <li>6. 職場でのさまざまな問題やストレスと心理的支援</li> <li>7. 仕事と生活の調和</li> <li>8. 職場の多様性&lt;学外講師:加藤正文&gt;</li> <li>9. 職業生活設計とキャリアコンサルティング</li> <li>10. 職場の安全文化と労働災害への対応</li> <li>11. 労働者の心の健康の保持</li> <li>12. 適切な人材管理と職場生活の安定</li> <li>13. 現代の経済構造の変化</li> </ol>				

科目名	現代社会Ⅱ	前期	講義	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済			
担当者	小沢 康英			
<p>[ 成績評価方法 ] 授業における自立心・対話力(30%)、レポート(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[ 教科書(ISBN) ] プリントを配布する</p> <p>[ 参考書(ISBN) ] 適宜指示する</p>				